

《長崎新聞 平成 25 年 1 月 28 日朝刊より転載》

【質問】「治験」という言葉を時々耳にしますが、どのようなことですか。  
(51歳女性)

治験

新薬開発の最終段階



きいといえます。

治験・臨床試験の対象となる患者さんに対して医

治験・臨床試験に参加するメリットは何でしょうか。最大のメリットは従来の薬より効果の高い薬を服用することにより、病気の改善が期待できることです。治験に関連する治療、入院、検査の費用は基本的に無料となり、交通費

【回答】治験とは、新しい薬を開発する最終段階で、国の承認を得るために行う治療を兼ねた試験のことです。人に使ってみて、本当に安全で有効なのか、あるいはどれくらい量を服用するのが適切なのかを検証します。

治験に似た言葉でよく使われるのが「臨床試験」です。これも治療を兼ねて人に対して行いますが、新薬の開発に限らず、承認済みの薬の効果の追跡調査

や薬の別の効能を調査、確認する試験を含んでいます。患者さんらが治験・臨床試験に参加するのは基本的にはボランティアになります。参加者がいない限り新薬は誕生しません。自分だけではなく、同じ病に苦しんでいる人を救うことにつながり、その社会的意義は大

す。医師は丁寧な説明を行います。その内容は試験の目的、方法、期待される効果と予測される副作用、そして治験・臨床試験に参加しない場合の治療法などです。参加するかどうかは説明を受け十分納得して決めることが大切です。また自らの意思でやめることも可能です。

が支給されることもありま。逆に通常の診察より時間や手間がかかったり、思わぬ副作用が生じる可能性があることがデメリットとして挙げられます。医療機関は副作用に対応できる体制を整えています。副作用による被害が生じた場合は医療や金銭による補償が受

治療兼ねた試験で検証

【質問をどうぞ】 県医師会は、県内の中核病院と一般病院、診療所が協働して「ながさき治験医療ネットワーク」の組織化を進めています。治験を行う医療機関を探したり、患者さんたちに治験の情報を提供したり、治験の進行状況を把握したりする取り組みです。迅速な治験・臨床試験ができるようになり、新薬を待ち望むがんや難病の患者さんたちを支援していきたいと考えています。  
(県医師会)

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。